



学校
だより

月にみがきて

令和4年9月22日
千曲市立更級小学校

<文責>

教頭：青木 猛

「学力向上」 9月15日 体育の研究授業より

「テニピンを楽しもう」

今、全校の各クラスでは、ネット型ゲームの「テニピン」の単元を学習しています。このテニピンとは、テニスのラケットの代わりにウレタンのハンドラケットをつけて、スポンジのボールを打つスポーツです。2人1組のダブルスで試合をします。基本的にはワンバンドまたは、ツーバウンドしたボールを打つため、テニスや卓球に似ています。運動の苦手な子どもでも楽しめる教材です。いきなり試合をするのは難しいため、練習をして技能の習得や向上に取り組んでいます。



学年が上がるにつけ少しずつ試合にも取り組めるようになってきています。コロナ禍でも密にならずに取り組めるスポーツということもあって今年度、教材として取り入れました。密になりやすい体育の時間ですが、テニピンは密にならずに体力の向上が期待できます。

更級小学校の体育の研究テーマは「友とつながりながら力を高め、楽しく運動できる体育学習のあり方」です。テニピンの技能の習得や向上を友とつながり合いの中で力を高めていくというものです。そこには、コミュニケーション力や相手やペアを思う気持ちも入ってきます。また、文部科学省から「学びに向かう力」という新しくつけるべき力が示されていますが、更級小学校の体育では、その部分を友とのつながりからつけたいと考えています。

9月15日木曜日には、体育で授業を指導してくれる指導主事の先生を東信教育事務所から招き、3年1組と2年1組の授業を見ていただきました。そして、子どもたちの力を伸ばし、さらにより実践にするためにはどのようにしたらよいかについてのアドバイスをしてもらいました。

10月13日木曜日には、更埴地区の教職員が各校に集まって「教育課程研究協議会」という授業研究会が行われます。更級小学校では2年1組が体育の授業を公開して、更級小学校の実践について研究を深めることになっています。

職員研修による地域研修会

児童の皆さんが夏休み中の8月22日月曜日に校内職員研修会として、大代孝浩教諭を講師とした地域研修会を行いました。更級地域に根差した教育活動をさらに発展的な実践にしていく目的で行わ

れ、本校の教職員にとっても非常に大切な機会となる研修会となりました。

研修の具体は、「堂の山」「久露滝」「御麓」に実際に訪れフィールドワークを行うとともに大代教諭からの自然・産業的・歴史的・地学的など見地からの説明がありました。

研修に参加したある教職員は、「名前は聞いたことがあったが行ったことがなかった場所に行けたことは貴重な体験でした。今後は、更級地域とともにある自分と子どもの学びをデザインしたいと強く思いました。とても意義深いものになりました。」と感想を述べてくれました。

研修を企画してくれた大代教諭は、「毎年計画的に少しずつ更級の地を学ぶことで、それが教職員の財産となり、ふるさと学習に生かせると思っています。その思いで研修会やフィールドワークを企画しています。」述べています。このように絶えず学び合う姿勢を大切にしたい職員集団でありたいと思いますし、今後とも更級小学校では、教職員による様々な研修会を行う予定です。



特色あるクラブ活動

更級小学校コミュニティスクールの取り組み

今年度のクラブ活動は、6月から9月までで計7回活動できました。10月にはまとめの会を行う予定です。新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じて、全てのクラブで地域の講師の方に指導をしていただきました。



郷土料理クラブ

講師の皆さんからたくさんのことを教えていただき、体験を通して、心と体に残る学習になりました。講師の皆さん本当にありがとうございました。



茶道クラブ



卓球クラブ